

2020年4月27日

各位

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
(証券コード：6090 東証マザーズ)

アンジェス、大阪大学が手掛ける新型コロナウイルス感染症(COVID-19)向け DNA ワクチン共同開発： 当社保有のメタボロミクスを用いたバイオマーカー探索研究で参画

アンジェス株式会社(本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：山田英、以下、アンジェス)と、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社(本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長：橋爪克仁、以下、HMT)は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する包括的共同研究契約を締結しましたので、お知らせします。

2020年3月5日に発表された新型コロナウイルス向けDNAワクチンのアンジェスと大阪大学との共同開発に関して、ワクチン接種後の代謝変動解析において、メタボロミクス^{※1}技術を保有する当社が新たに参画することが決定いたしました。当社は、ワクチン接種後の生体内の経時的な代謝変動を分析し、抗体価等の生体情報の変動とあわせて解析することにより、その関連性の研究をアンジェスと共同で進めてまいります。さらに、ワクチンの有効性等の評価指標となるバイオマーカー^{※2}の探索を共同で進めてまいります。

当社ではメタボロミクス技術をコアとして、様々なバイオマーカーの探索研究を進めており、その一環として、新型コロナウイルス対策に寄与できるよう、本共同研究を実施してまいります。

なお、本件による2020年6月期業績に与える影響は軽微です。

※1 メタボロミクス

メタボロミクスは、細胞や生体内に存在する代謝物質を包括的に測定し、生命現象を総体的に理解しようとする解析手法です。遺伝子を解析するジェノミクス、たんぱく質を解析するプロテオミクスなどとともに、生命科学における解析手法の一つとして注目されています。

※2 バイオマーカー

特定の病状や生命体の状態の指標

○会社概要

【アンジェス株式会社】

本社所在地： 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号 彩都バイオインキュベータ1階
代表者： 代表取締役社長 山田英
証券コード： 4563 (東証マザーズ)
事業内容： 遺伝子医薬品の研究開発

【ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社】

本社所在地： 山形県鶴岡市覚岸寺水上246番地2
代表者： 代表取締役社長 橋爪克仁
証券コード： 6090 (東証マザーズ)
事業内容： メタボロミクス事業(メタボローム解析試験の受託)
バイオマーカー事業(バイオマーカーの探索および診断、医薬品開発分野での事業化)

○参考情報

【プラスミド DNA 製造技術を用いた新型コロナウイルス向け予防用 DNA ワクチンの開発および製造プロジェクト概要-3月5日以降のアンジェス社配信リリースからの参考情報】

- アンジェスおよび大阪大学(臨床遺伝子治療学・健康発達医学)が有するプラスミドDNA製品の開発実績を生かし、新型コロナウイルスの予防用 DNA ワクチンを共同開発
- 製造はプラスミド DNA の製造技術と製造設備を有するタカラバイオ株式会社が担当
- ダイセル社は、新規投与デバイスによる皮内への遺伝子導入法を開発し、その臨床応用を目指した研究を大阪大学(先進デバイス分子治療学、健康発達医学)が推進
- 新規投与デバイスを使用することにより、皮内での遺伝子発現効率および抗体産生力を高めることが期待されるため、より有効性の高い DNA ワクチン開発が可能
- 人への投与を行う臨床試験について、運営と管理を行い、臨床開発を促進するため、医薬品開発支援機関として EPS ホールディングス株式会社が参画
- ペプチド研究所が、抗体価測定のためのペプチド合成研究を担当
- 新日本科学が、非臨床試験における DNA ワクチンの安全性検証業務を中心に担当

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (HMT) について

HMTは、鶴岡市にある慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果をもとに2003年に創立したバイオベンチャーです。企業や公的研究機関などの研究者を対象に代謝物質の解析サービスの提供や大うつ病をはじめとする精神疾患等を客観的に評価するバイオマーカーを活用した研究開発等を進めております。創立10周年を迎えた2013年12月には東証マザーズに上場いたしました。(http://humanmetabolome.com/)

ニュースについてのお問い合わせ先
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
管理本部 石原 (イシハラ)
TEL 03-3551-2180 FAX 03-3551-2181
invrel@humanmetabolome.com

以上